DILA ディラ国際語学アカデミー　Mercer

welcome to brighter

ディラ国際語学アカデミー×マーサージャパン共催

ポストコロナの海外赴任を考える
― その位置づけの再考と語学教育への投資 ―

コロナ禍を経て、「人が海外に赴き働く」ということが再考されています。海外赴任は、地球規模における「適所適材」(組織能力獲得・人材確保／活用)に向けた手段として非常に有効です。また、「リテンション」「キャリア自律」「リスキル／アップスキル」(ひいてはエンゲージメント向上)施策としても非常に有効な手段です。事業目線・社員目線双方における課題を解決するにあたり、非常に有効な手段である海外赴任を成功に導くために、会社にはどのような取り組みが求められるでしょうか。

今回のセミナーは、企業の海外赴任者向け語学教育で定評のある「ディラ国際語学アカデミー」（DILA）と、海外人事戦略、赴任者処遇設計や赴任前研修プログラムを提供している「マーサージャパン」との共催となります。海外人事担当者が、コロナ禍を経て押さえておきたい、海外赴任の目的・位置づけの再考、成功に導くための施策トレンド、そして、その施策の中でも中核的な位置づけとなる「語学教育」についてお話いたします。

「人が海外に赴く」という意味合いが変わってきている今だからこそ知りたい、この先の海外人事戦略を考える上でヒントが得られるセミナーです。

おすすめの対象者

- **海外人事、グローバル人材育成に携わる方**
- **海外赴任の仕組みの見直しを検討している人事企画の方**
- **語学研修の効果をより高めたいと考えている教育部門・人材開発部門の方**

開催日程

日　時	2023年11月17日（金） 15：00～16：15
参加費	無料
定　員	450名
開催方法	オンライン（Zoom開催）

プログラム（予定）

【第１部】 海外赴任再考と処遇トレンド	１．コロナ禍以降の複合的な変化 ２．改めて考える海外赴任がもつ効能 ３．求められる処遇の検討
【第２部】 コロナ禍前後からみる、 赴任前語学研修の最新動向	１．研修実績からみる、各企業の派遣状況と赴任前研修の実施言語 ２．赴任地ごとに使われている「生活言語」「業務言語」 ３．求められる赴任前研修
【第３部】 対談及び質疑応答	上記のトークをふまえた2社での対談及び質疑応答 **※下記お申込みフォームで事前質問を受け付けておりますので、ぜひご質問をお寄せください。**

講師紹介

佐藤　桂（さとう かつら）氏
ディラ国際語学アカデミー
（DILA）理事長

内村幸司（うちむら こうじ）
マーサージャパンプロダクト・ソリューションズ部門
シニアプリンシパル グローバルモビリティプラクティス日本代表

お申込みはコチラから（クリック！）

【お問い合わせ】
マーサージャパン株式会社　組織・人事変革コンサルティング部門 Mercer Learning事務局　hcas.japan@mercer.com

免責事項
本文書には、マーサージャパン株式会社またはそのグループ会社（以下併せて「マーサー」）に帰属する秘密・機密情報および知的財産が含まれています。別途合意した場合を除き、本文書の利用は貴社に限定され、本文書に含まれる情報や意見等は、変更または第三者に対して提供されてはなりません。本文書に含まれる情報は直接に、または他の情報源から取得したものです。マーサーはこの情報を信頼のおけるものと理解していますが、情報の正確性について　保証するものではありません。また、本文書とその関連書類における誤り、遺漏および不正確性ならびにこれらの結果生じる損害に対してマーサーは責任を負いません。
https://www.mercer.co.jp

A business of Marsh McLennan